

大学ジャーナル

FREE

vol.155 3月号

第29巻1号・通巻155号

大学生になっても読んでほしい

発行所:くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2
 TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374
 E-mail KYA01311@nifty.com

大学ジャーナル
 UNIVERSITY JOURNAL
 ONLINE
<http://univ-journal.jp>



Highlight

03 **トピックス**
 第13回科学の甲子園全国大会

04 **連載** 16歳からの大学論
 特別編 あなたはどんな
 “不思議”を追っていますか

全国9地区で開催する一大プロジェクト、
 『全国キャラバン3Questions』始動！
 第1回は3月3日から4日間広島で

京都大学准教授 宮野公樹先生

連載 大学ランキングからはわからない大学の実力
 東大推薦入試の結果から
 女子優遇措置を考える
 教育ジャーナリスト 小林哲夫さん

05 **連載** 杜の都の西北から
 拡充中の修学支援制度の今
 受験生は日々のチェックを怠らないように
 東北文化学園大学事務局長 小松悌厚さん

連載 雑賀恵子の書評
 謝罪論 謝るとは何をすることなのか
 古田徹也

06 **大学ジャーナルオンラインから**

08 「誰かの笑顔のために」から始める
 場のデザインとソーシャル・イノベーション
 キーワードは笑顔、思いやり、居心地の良さ
 京都産業大学 現代社会学部教授 宮木一平先生

宮坂力先生の著書『大発見の舞台裏で!』(さくら舎)
 を5名の方にプレゼント



ご希望の方は
 右記QRコードを
 読み取りお申し込み
 ください



世界を変える精鋭が育つ
 研究・教育の場、
 京都大学大学院
 総合生存学館
 (思修館)

5年一貫で
 世界で活躍する
 博士を育成



京都大学大学院 総合生存学館
思修館
<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/>



公式 LINE から
 最新情報を配信中



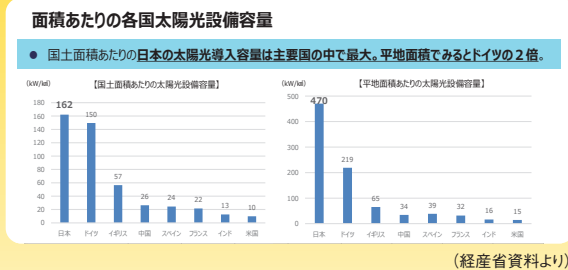
探求応援号 第6弾 学問と探求 日本を代表する研究者から高校生へのメッセージ

太陽電池を一人一台、自給自足の時代を

光電気化学で次世代新エネルギーを

新エネルギーの中核を担う太陽電池に転換期が訪れている【下グラフ】。そこで注目を集めているのがシリコン製に代わる薄型太陽電池、中でもペロブスカイトと呼ばれる結晶の膜を使ったもので、実用化が目前だ。シリコンとは全く違う材料を使うことで、社会のありようまで変える可能性を秘める。世界情勢が不透明になる中で、国産の材料だけで作れることにも期待が集まる※1。2030年に太陽光発電のシェア14~16%を目標とする政府が、「早期の実用化を」※2と旗を振る中、電機や化学、住宅メーカー大手も2025年からの展開をにらんで生産体制を整える。ペロブスカイト太陽電池の発明者として脚光を浴びる宮坂力先生に、「大学研究者→企業の研究職→大学教員とベンチャー経営者」というキャリアから、研究・開発のこれまで、アカデミアのエコシステムなどを振り返っていただくとともに、高校生へのメッセージをお聞きした。

※1 日本のエネルギーの自給率はOECD諸国の中でも最下位に近く10数%と言われている。
 ※2 2021年10月に閣議決定された「エネルギー基本計画」では、2030年度の電源構成として再エネ導入目標を36~38%とし、そのうち太陽光は14~16%とされている。
https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/green_innovation/green_power
 から、経済産業省 グリーン電力の普及促進等分野ワーキンググループ 2023年8月31日第6回も参照。



桐蔭横浜大学 特任教授 宮坂 力 先生

Profile

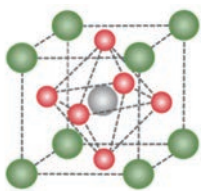
1976年早稲田大学理工学部応用化学科卒業、1981年東京大学大学院工学系研究科合成化学博士課程修了。この間1980~81年カナダ・ケベック大学大学院生物物理学科客員研究員。1981年4月富士写真フイルム(株)入社、足柄研究所研究員、2001年12月~2017年3月 桐蔭横浜大学大学院工学研究科教授、2017年4月桐蔭横浜大学医工学部特任教授、2017年10月東京大学先端科学技術研究センター・フェロー、2020年4月~2023年3月、早稲田大学先進理工学研究科・客員教授。2023年1月朝日賞、2022年7月 英国 Rank Prize 等受賞多数。早稲田大学高等学院高等学校出身。



そもそもペロブスカイトって？

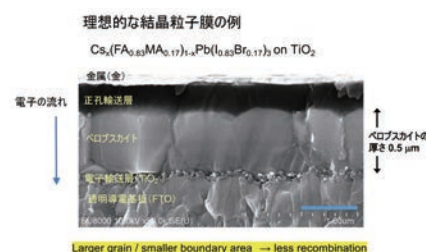
鉱物の名前？

元々はそうで、発見したレフ・ペロフスキー(ロシアの貴族、鉱物学者: 1792~1856年)の名前に由来する。主成分はチタン酸カルシウム(CaTiO3)。カルシウムとチタン、酸素からできている無機化合物だ。珍しい構造をしているため【上図】、同じ結晶構造を持ったものの総称となっていて、これらの金属の酸化物からなるペロブスカイトは強い誘電性を示すのが特徴で、身近ではインクジェットプリンターの印刷ヘッドなどに使われている。いっぽうで、酸化物の代わりに、ヨウ素(I)などのハロゲンからなるペロブスカイトというものがある(たとえば、CsPbI3など)。これらは人工的に合成することができ、中には光を吸収すると発電するものがある。

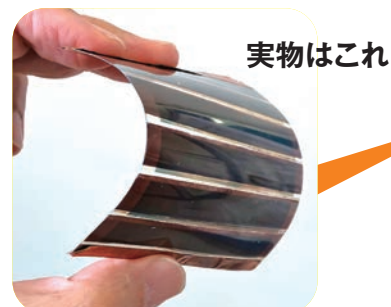


このハロゲン化ペロブスカイトは溶剤に溶けることから、溶かした原料を塗って乾かし薄い膜にすると発電に使える。例えば、プラスチックフィルムなどに原料を塗ることで薄くて軽いペロブスカイト太陽電池を創ることができ、これを生活のいろいろな場所に設置することで、光が当たると高い変換効率で電力をつくらることができるわけだ。【右図】

現在普及している半導体シリコンを使った太陽電池とは、組成も製造方法も全く異なり、その特徴を比較するとこんなことになる。【下図】
 ちょっと見ただけでも期待が持てそうだね。どんなことを学べば作れるのかな？



研究開発分野は、光電気化学と呼ばれる。化学の中の「物理化学」の分野にある「電気化学」に生まれた領域で、光がかかわる電気化学という意味。半導体を電極に使った水の光分解はその典型的な例。ちなみに英語表記はPhotoelectrochemistry。2004年に立ち上げたベンチャー、ペクセル・テクノロジーズ株式会社は、その頭文字にCell(セル)を足したものだ。



こんなにすごい! これまでの太陽電池に比べて ペロブスカイト太陽電池

- 10粉の1から100分の1 軽くて薄い
- 弱い光でも発電 (室内でも使える)
- 簡単に作れる 塗って(印刷して)乾かすだけ
- 低コスト、室温~100度で作れる
- カラーが選べる 透明にもできる から窓にも貼れる
- 宇宙でも有望
- 高いエネルギー変換効率
- フレキシブルな形にできる 小デバイスにも貼れる
- 反射公害0
- 材料はすべて 国産

がんばれ! ペロブスカイトくん

Dr.ベクトム

探求応援号 第6弾 学問と探求 日本を代表する研究者から高校生へのメッセージ

光電気化学で次世代新エネルギーを

ペロブスカイト太陽電池の発明

材料をガラス板やプラスチックフィルムの上に貼ったり印刷したりするだけで、ずいぶん突飛なアイデアだけど、いつ、どこで、誰が？

発明に至る前段を話そう。僕は大学院博士課程を光触媒などで著名な本多健一先生*1の研究室で過ごし、修了後は日本有数のフィルムメーカーに就職した。植物の光合成を光電気化学でシミュレーションする研究をかわれて。ただ企業の研究所だからなんでもやらされた。人工網膜やリチウムイオン2次電池の研究開発は代表的なもの。製品化には至らなかったが、ともに原理を解明し『サイエンス』にも掲載された。もちろん僕一人の力ではないが、この間、準備万端の研究が、会社の都合で中断されるなど辛い思いもある。まあ組織の一員だから、社命に従うのは当然だけど。

大学の研究とは違うね、で、転職を？

結局45歳を過ぎて転職を考えだしたが、その頃に与えられたテーマが色素増感太陽電池だった。銀塩の写真の高感度化に使う色素増感技術を使って太陽電池を作るというアイデアで、化学で作る太陽電池の代表であり、発電の仕組みとしてはペロブスカイトの先輩にあたる。ただ個人的にはあまり乗り気ではなかった。液体(電解液)を使うから液漏れしたりして耐久性に問題があると予想していたからだ。発明者はマイケル・グレッツェル教授*2。1991年に論文を発表した彼は今でも研究を続けていて、最近では変換効率も14%まで高めている。あまり電力のいらぬ機器なら十分動かせる値

で、商品化もされている。

- *1 1925~2011年、東京大学教授、京都大学教授、東京工芸大学教授、同学長、1972年の「本多・藤嶋効果」などで知られる。酸化チタンに光触媒の性質があることに着目、数々の発見・発明をリードした。
*2 Michael Grätzel: 1944年~スイス連邦工科大学ローザンヌ校教授

ここからペロブスカイトにどうつながる？

ここまでの話で気づいた人もいるかもしれないけれど、光触媒も光合成も、色素増感も光のエネルギーを酸化還元反応で化学や電気エネルギーに変える。光合成は二酸化炭素と水をグルコースに、光触媒は酸化チタンを半導体を使って水を分解して酸素と水素に。色素増感太陽電池とペロブスカイト太陽電池は光を直接電気エネルギーに変える。ここでも電子の輸送には酸化チタンが使われる。前者は可視光線を吸収させるために色素を使い(酸化チタンは紫外線しか吸収しないから)、後者は可視光線を吸って発電する半導体としてペロブスカイトを使い、これを電極に塗って印刷することで電池ができる。

全部つながるんだ！

僕は会社を辞めてこの大学に移ってすぐ、さっき紹介したベンチャー企業を作ったが、研究室とそこの両輪で色素増感太陽電池も研究していた。そんな僕の前に、色素の代わりにペロブスカイトを使ってみようという若者が現れた。日本で写真技術教育の伝統をもつ東京工芸大学の修士課程にいた小島陽広君で、ペロブスカイトを研究していた。紹介してくれたのは東京工芸大で教員をしていたがパクセル社の求人に応募、入社してくれた手島健次郎さんだ。僕は小島君の話聞いて、「どんなものかわからないが、

光機能があるということで、誰もやっていない方法だから、試しに実験してみようか」と、彼を受け入れて、学外研究員という形で来てもらうことにした。

ずいぶん思い切ったね。伝統のある大学や、大規模大学では考えられないね。

そう、ここは小規模だから小回りが利く。それに受験に失敗した子たちも多いから、彼らの刺激にもなると思った。もちろん不思議な縁も感じていた。当時の東京工芸大の学長はなんと本多健一先生。東大定年後に京大へ移籍され、その後東京へ戻っておられたんだ。

小島君は僕の指導で、だれもがあまり可能性はないと思っていたペロブスカイトを使って黙々と実験を続けた。しかも修士卒業後は、僕が東大にも持つようになった研究室の博士課程に入ってくれた。

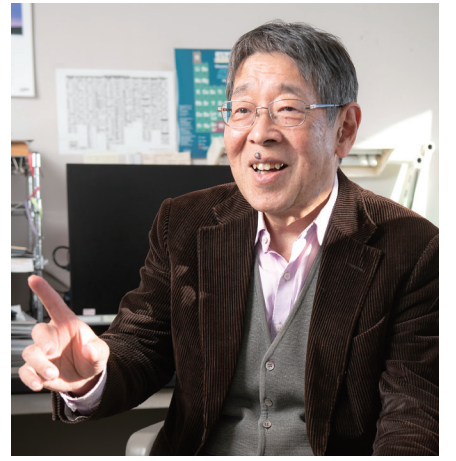
そして博士課程3年目の2009年に、ペロブスカイトを使ってエネルギー変換効率を3.8%まで高め、世界初のペロブスカイトを使った太陽電池の論文を、僕と共著で出版した【下表の赤の☆印】。小島君はこのペロブスカイトの研究で学位論文を出して博士号を取った。

さらなるブレイクスルーが

そこからほぼ15年、現在は4万人のペロブスカイト太陽電池の研究者がいるとも言われるけど、すんなり来たのかな？

まだまだ。ペロブスカイト太陽電池は、今でこそシリコン製の光変換効率に追いついたが、当時の4%弱からそれを上げるためには、もう一つブレイクスルーが必要だった。

どんな？そしていったい誰が？



当初、僕らは色素増感と同じようにヨウ素などを含んだ液体を電荷の輸送に使っていた。しかしこれではペロブスカイトの一部がそこへ溶け出して効率が上がらないという問題があった。

つまり、ペロブスカイトが電解液で分解してしまうということ？

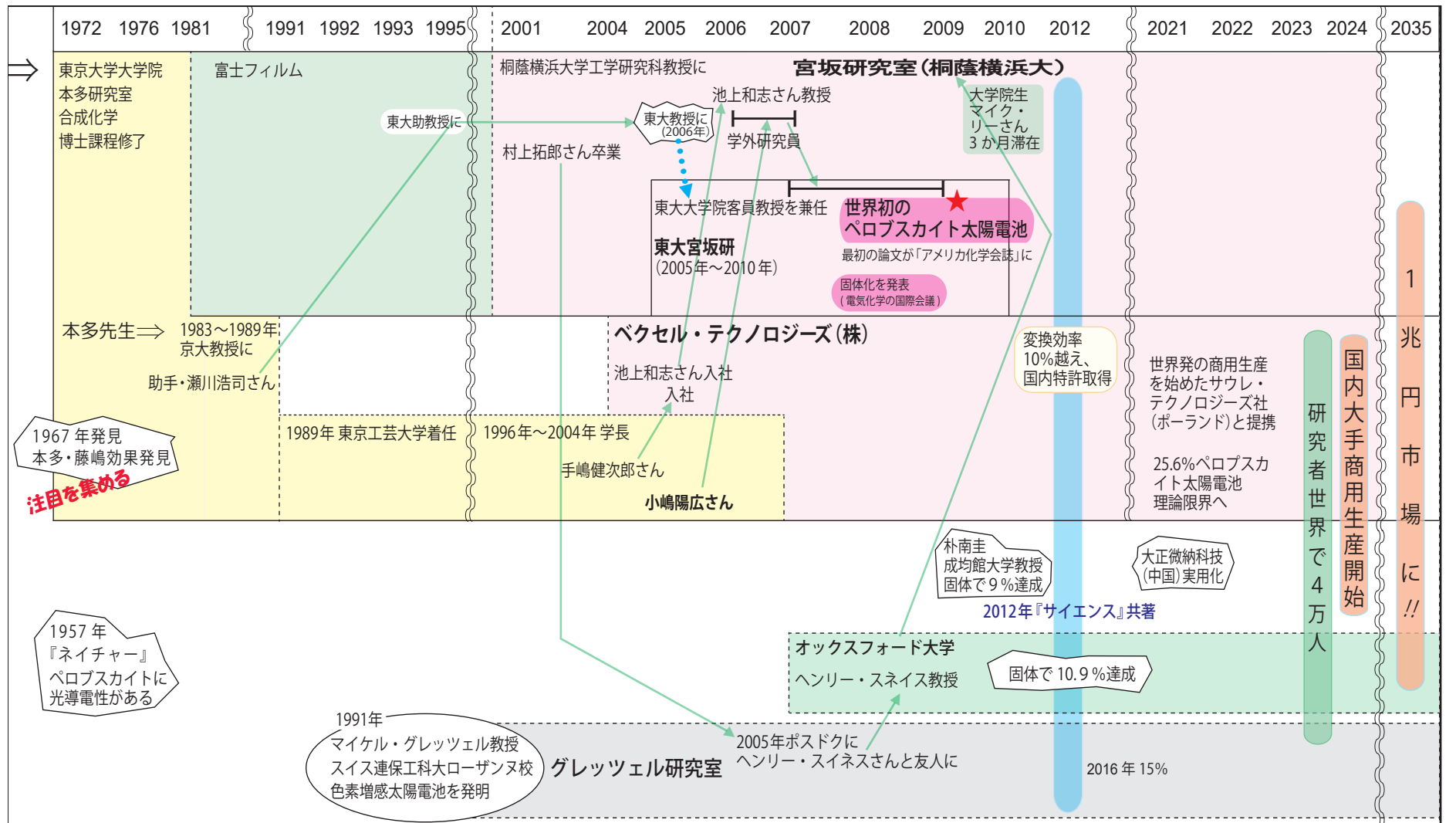
まあそうだね。これではいくら効率が上がっても実用性がない。小島君もそれに気づいていて、2008年には固体の可能性を示唆していた。ところがだ。

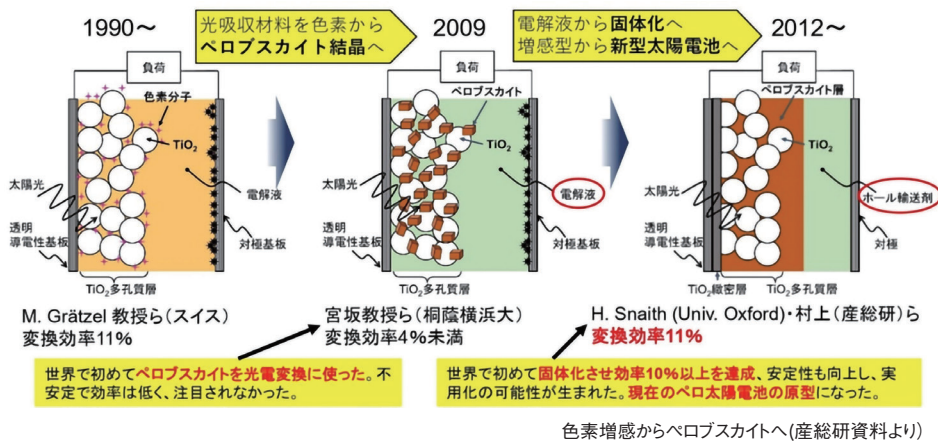
何か新展開が起こるんだね？

詳しくは下の年表を見てほしい。僕の研究歴が中心だが、舞台はこの桐蔭横浜大学から、スイス、イギリスへ、さらには韓国、そして中国、ポーランドへも広がっていく。次も主演は若者だが、今度はイギリス人。

ええ…！？

色素増感太陽電池に固体の電荷輸送材料を使えないかを研究していたヘンリー・スネイス君*3だ。彼がマイケル・グレッツェル教授のもとへ来ていた時、たまたまうちの研究室からポスドクとして行っていた村上拓郎君*4と仲良くなり、ペロブスカイトのことを知った。その後オックスフォード大に職を得た彼は、よほど気になったのか、院生を僕の研究室へ3か月間送り込みペロブスカイトの作





製法を習得させた。そしてまさにその一年後だった。彼の研究室はなんと10.9%という変換効率を達成したんだ【上図】。

え、え、何をしたの？

液体の電解質を、得意の固体にしてみました。この高い効率には世界中がびっくり、「これは使えるぞっ！」ということになった。僕らとの共著論文は注目を集め、その後この時の関係者は世界的に権威ある賞をいくつも共同受賞した*5。そしてそれまでの色素増感太陽電池の研究者も、あっという間にペロブスカイト研究者になった！

そこからはほとんどん拍子だね

うん。僕らの研究室も特許をとるし、世界中が変換効率を上げるのに鎬を削り、今ではシリコンとほぼ同じ26%以上を達成している。あとは具体的な製品作り、いわゆる実装あるのみだ。

*3 Henry Snaith:現オックスフォード大教授
 *4 現国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)有機系太陽電池研究チーム長
 *5 2017年のクラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞に始まり、2022年ランク賞、2024年朝日賞まで多数受賞。

日本の企業と、そこを目指す若者へ

ただ問題もあるんだね。日本の企業が出

遅れてるって？ペロブスカイトはいいことづくめだし、素材開発で先行しているのに。

やはり大企業は儲かるものしかやらない。儲かっている間はリスクを取る必要がない。前職でもこれは何度も経験した。しかも日本人には、石橋を叩いて渡る人、叩いても渡らない人が多い。欧米や中国に追い抜かれることが多い原因の一つだ。

もう一つは、シリコン太陽電池のトラウマがある。当初、日本は圧倒的なシェアを誇っていたが、韓国、中国に逆転された。ペロブスカイトも「同じ太陽光発電だから、また負けるのでは」との先入観が経営陣に蔓延している。これから大企業に就職しようとしている人には、そんな風土を覆してほしい。今度は失敗しないぞって。

研究室の選び方

先生の周りでは人が育つと拝見しましたが、小島さん、池上和志さん、村上拓郎さん、手島健次郎さんと、バックグラウンド

の異なる学生さん、若い研究者が、重要な局面で、表舞台や縁の下で活躍された。先生を東大に呼ばれた瀬川浩司さんを入れてもいいかもしれない。

そうだね。彼は京大で本多先生の助手をしていて、東大教授になると僕を東大の客員教授に推薦してくれた。

僕はどこにいても、学生が喜ぶ顔を見るのが好きだ。そのためにできることはいろいろしてきたつもりだ。学部生でも海外の学界へ連れて行く。そして行った先で自分が触媒になって、いろんな人に会わせる。それがきっかけで育つ人が出てくる。

「人事、検分、努力を尽くす」を座右の銘とされているとか。

《人事を尽くして天命を待つ》という古い言い回しをもじったものだ。《人事》とは人の集まり、巡り合わせ、これは企業の研究室であれ大学であれ、とても大事。人が人を呼び、輪が広がり、成果がうまれていく。ちなみに《検分》とは徹底的に調べて、いいものを探すこと。

「研究とは真実を巡る人間関係である」という言葉を聞いたことがあります。

高校生へのメッセージ

高校時代は広く浅く学ぶことはもちろん大事だが、深くやるもの一つはもちたい。『総合的な探究の時間』『理数探究』などという授業もあるから、方法論、手段を学びやすい。「これどうなるんだろう？」と思ったら、そこから調べ始める。また一見テーマとは関係ないように思えることでも、手を伸ばせば届きそうだったら、まずは試してみよう。そして自分で納得できるまで徹底的に調べる。実験の中で、「あれ？」って何か引っかかることがあったら、見過ごさず立ち止まって原因を考えてほしい。先を急ぐあまり無視すると、大きな発見を見逃してしまうかもしれない。

まさに「努力を尽くして…成果を待つ」だ。この過程で、自分が何に興味があるかもわかってくるし、また不幸にも不成功に終わったとしても、それが分かったことも大きな成果だ。

少し話は脱線するが、僕は今でも研究の合間を縫ってバイオリンを弾き、楽器

として研究もしている。あらたに発見したことは権威のある専門誌に投稿することにしている、これまでに3度も掲載された。

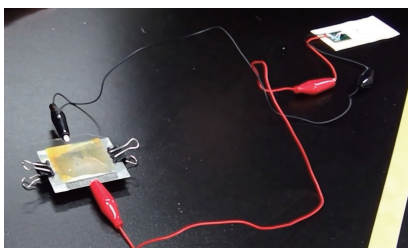
中学・高校時代、スピード優先の受験勉強で一旦挫折を味わった僕だが、大学、大学院へと進む中で立ち直った。特に大学院時代は充実していて、『ネイチャー』や『サイエンス』に掲載されたものも含め、論文をたくさん書いた。それまでの「なぜの追求」「好きの追求」が花を開かせてくれたのだと思う。これは今でも僕を支えてくれているものでもある。

最後に生成AIについて一言お願いします

AIは膨大な情報量(ビッグデータ)をもとに結論を出すわけで、考えているわけではない。AIに頼ると人が努力して思考する能力が衰える危険から、僕の見方は否定的だ。AIを情報の高度な処理だけに使うなら良いが。

ありがとうございました。

色素増感太陽電池制作にチャレンジ!



使用したのはベクセル・テクノロジーズ社製の色素増感太陽電池実験キット(PEC-TOM02)。キットには作成マニュアルが添付されているが、高校生には戸惑うところもあり、顧問の適切なアドバイスや指示が必要だった。完成に至る一連の作業は、起電力、電流、光量による発電能力の違い、並列回路や直列回路など理科の基本的な学習に繋げることができる。

- 授業で使用している化学資料集で化学電池と太陽電池の仕組みを復習し、実験キットの取扱説明書に書かれている色素増感太陽電池の仕組みや作成手順等を確認した。
- キットの内容や導電フィルムの裏表を確認した。このキットは電池2個で作成できるので、予算に余裕があれば4人の班あたり1キット、予算が少なければ、2班に1キットがよいと思われる。

都立王子総合高校の科学部
 科学部顧問 木内美帆

- 作成はマニュアルを参照してもらいたい。ここでは部員の活動を見ていて気づいた点を示す。丸数字はマニュアルの手順の番号である。
- 導電性プラスチックフィルムへのチタンペーストの塗布…誰でもセロハンテープ3枚分の厚みで塗布できるようにマニュアルが工夫されている。しかし、最初にセロハンテープに乗せるペーストの量が少なすぎると薄くなり厚さにムラができる。点眼瓶に入っているペーストは電池2個分なので、目分量で全液量の1/3程度を乗せるとよい。
- 室温が低いときは時間を長めにとったほうが良い。
- セロハンテープでステンレス板の辺を包むように貼るのだが、「包み込む」という表現が理解できなかった部員もいた。
- 対向電極となるステンレス板に裏表があり、鉛筆で塗りつぶすのは光沢の少ない白っぽい面がよい。

一連のダイジェストは
 URL: <https://youtu.be/qBbd0Fw-kPQ>



トピックス

第13回科学の甲子園全国大会は3月15日(金)~18日(月)に、つくば国際会議場とつくばカピオで開催



各都道府県代表選考には704校(668校)から8042人(7870人)がエントリー(カッコ内は前回)。出場校は右記の通り

第13回科学の甲子園全国大会 都道府県代表校一覧

令和6年1月9日現在

| No. | 都道府県名 | 学校名 | |
|-----|-------|------------------------|------|
| 1 | 北海道 | 北海道札幌南高等学校 | 初出場 |
| 2 | 青森県 | 青森県立弘前高等学校 | 6回目 |
| 3 | 岩手県 | 岩手県立盛岡第一高等学校 | 11回目 |
| 4 | 宮城県 | 宮城県仙台二華高等学校 | 6回目 |
| 5 | 秋田県 | 秋田県立秋田北高等学校 | 初出場 |
| 6 | 山形県 | 山形県立山形東高等学校 | 5回目 |
| 7 | 福島県 | 福島県立磐城高等学校 | 2回目 |
| 8 | 茨城県 | 清真学園高等学校 | 初出場 |
| 9 | 栃木県 | 栃木県立宇都宮東高等学校 | 初出場 |
| 10 | 群馬県 | 群馬県立高崎高等学校 | 3回目 |
| 11 | 埼玉県 | 埼玉県立大宮高等学校 | 5回目 |
| 12 | 千葉県 | 千葉県立東葛飾高等学校 | 4回目 |
| 13 | 東京都 | 筑波大学附属駒場高等学校 | 9回目 |
| 14 | 神奈川県 | 栄光学園高等学校 | 12回目 |
| 15 | 新潟県 | 新潟県立新潟高等学校 | 11回目 |
| 16 | 富山県 | 富山県立富山中部高等学校 | 11回目 |
| 17 | 石川県 | 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 | 初出場 |
| 18 | 福井県 | 福井県立藤島高等学校 | 11回目 |
| 19 | 山梨県 | 北杜市立甲陵高等学校 | 2回目 |
| 20 | 長野県 | 長野県諏訪清陵高等学校 | 2回目 |
| 21 | 岐阜県 | 岐阜県立岐阜高等学校 | 13回目 |
| 22 | 静岡県 | 静岡県立藤枝東高等学校 | 初出場 |
| 23 | 愛知県 | 愛知県立一宮高等学校 | 2回目 |
| 24 | 三重県 | 三重県立四日市高等学校 | 5回目 |

| No. | 都道府県名 | 学校名 | |
|-----|-------|---------------|------|
| 25 | 滋賀県 | 滋賀県立膳所高等学校 | 13回目 |
| 26 | 京都府 | 洛南高等学校 | 2回目 |
| 27 | 大阪府 | 高槻高等学校 | 2回目 |
| 28 | 兵庫県 | 神戸大学附属中等教育学校 | 初出場 |
| 29 | 奈良県 | 東大寺学園高等学校 | 5回目 |
| 30 | 和歌山県 | 和歌山県立向陽高等学校 | 2回目 |
| 31 | 鳥取県 | 鳥取県立米子東高等学校 | 3回目 |
| 32 | 島根県 | 島根県立松江北高等学校 | 7回目 |
| 33 | 岡山県 | 岡山県立岡山朝日高等学校 | 5回目 |
| 34 | 広島県 | 広島県立広島高等学校 | 初出場 |
| 35 | 山口県 | 山口県立山口高等学校 | 5回目 |
| 36 | 徳島県 | 徳島県立城ノ内中等教育学校 | 初出場 |
| 37 | 香川県 | 高松第一高等学校 | 初出場 |
| 38 | 愛媛県 | 愛光高等学校 | 6回目 |
| 39 | 高知県 | 土佐高等学校 | 4回目 |
| 40 | 福岡県 | 久留米大学附設高等学校 | 12回目 |
| 41 | 佐賀県 | 佐賀県立唐津東高等学校 | 6回目 |
| 42 | 長崎県 | 長崎県立長崎西高等学校 | 7回目 |
| 43 | 熊本県 | 熊本県立済々黉高等学校 | 初出場 |
| 44 | 大分県 | 大分県立大分上野丘高等学校 | 8回目 |
| 45 | 宮崎県 | 宮崎県立宮崎西高等学校 | 13回目 |
| 46 | 鹿児島県 | ラ・サール高等学校 | 13回目 |
| 47 | 沖縄県 | 沖縄県立開邦高等学校 | 6回目 |

4年ぶりの開催となった、全米の科学好きな高校生が集う「2023 Science Olympiad National Tournament」に参加した昨年の優勝チーム

16歳から
の
大学論

第39回 特別編

今回は筆者が足掛け2年かけて構想した一大プロジェクトのご紹介です

あなたはどんな“不思議”を追っていますか

全国9地区で開催する一大プロジェクト、『全国キャラバン3Questions』始動！
第1回は3月3日から4日間広島で京都大学 学際融合教育研究推進センター
准教授

宮野 公樹先生

Profile

1973年石川県生まれ。2010～2014年に文部科学省研究振興局
学術調査官も兼任。2011～2014年総長学事補佐。専門は学
問論、大学論、政策科学。南部陽一郎研究奨励賞、日本金属学
会論文賞他。著書に「研究を深める5つの問い」(講談社)など。

現在の大学は、事業戦略立案やKPI設定、ガバナンス強化、大学ランキング対策などに多大な時間を費やしています。社会の中の大学としての中長期戦略を考えることはもちろん重要です。しかし、利益誘導型の政策では、大学が企業体に形式的に近づくだけで大学の色合いは薄まり、それはまた学問の魅力の低下につながっていくのではないのでしょうか。実際、この20年における研究時間や博士課程進学率は減少傾向です。また現場も短期的な成果を生まなければならないというプレッシャーに常にさらされています。

このままでは、我が国の学問の土壌はど

んどん枯渇し、未来は先細りになる一方ではないか。論文産出や研究資金の獲得もさることながら、原点である探求者としてのピュアな「問い」を磨きあい、かつ、それらを多様なものにするこそが学問の営みのはず。にもかかわらず、今や私たちはその灯火を単独の大学で守ることが不可能とも思えるような状況に置かれていると言わざるをえません。であれば、全国規模で多様な学問を掘り起こし、その灯火を再点火していくしかない。

このように考え、今年2024年より、研究者の「問い」にフォーカスした研究ポスター発表大会(主催:『全国キャラバン3

Questions』を、公益財団法人国際高等研究所^{*}主催の下に全国9地区で実施することにしました。各地区では、その地区の大学、研究機関に所属する教員、研究者、大学院生、そして高専生が研究ポスターを掲示し、来場者は誰でも付箋紙でコメントを残すことができます。ポスターには

- ①「わたしが追っている不思議」として、研究者としての核心や原点にあるテーマが300字で、
- ②「これまでやってきたこと、やろうとしていること」として、前例・類似研究にも軽く触れながら自身の研究活動とこれからの目標やねらいどころ、展開方法が300字で、
- ③「みなに問う!」として、これからしたいことや、今抱える苦労や困難、投げかけてみたい質問や求めたいアドバイス、話したいトピックが200字以内で、

示されます。最大の特徴は、あえて匿名の発表とすること。これにより、閲覧者は所属組織や専門名だけで内容を判断してしまうなどの先入観から自由になり、発表者と本音で意見交換することができます。さらに、初対面でグループセッションを行うなどで出会いを演出したり、新たな共同研究を創出する「コラボ用ハッシュタグ」を準備したりする

など工夫をこらしています。

第一回目は、3月3日から4日間、広島大学にて開催。小・中学生や高校生、その保護者、高校関係者などの来場も大歓迎です。

詳細は以下から<https://www.iias-3questions.info/tyugoku>

本会ではあわせて、今後2年にわたる全国キャラバンを応援、ご支援いただくためのクラウドファンディングも実施しています。

■今、大学なのに「学問」がしづらくなっていく状況をなんとかしたい

■アカデミアとビジネスをはじめとする我々の暮らしとは「地続き」であることを行動として表したい

との私たちの趣旨に賛同いただける方のご支援お待ちしております。

またご支援いただける・いただけないにかかわらず、下記の「実施への想い」をぜひともご覧ください。

<https://academist-cf.com/fanclubs/336/progresses?lang=ja>

^{*}公益財団法人国際高等研究所:京都府木津川市、理事長 上田輝久、所長 松本 結
「人類の未来と幸福のために何を研究するかを研究する」を基本理念とする。

大学ランキングからはわからない大学の實力 第5回

東大推薦入試の結果から女子優遇措置を考える

2024年2月13日、東京大で2024年度の学校推薦型選抜(以下、推薦入試)の合格者が発表された。志願者は256人でうち女子は118人(46.1%)。合格者は91人で女子42人(46.2%)だった。女子の人数、比率いずれも過去最高である。

この結果を「意外」と受け止めた方は少ないだろう。

2023年、東京大は一般選抜で合格者2997人のうち女子は653人で21.8%で、初めて20%を超えたが、それ以前は20年以上、10%台後半を推移していた。この現実を考えると、女子が半分近いというのは信じがたかったからだ。

なぜ、推薦入試の合格者で男女がほぼ半々になるのか。高校教員からは「女子はまじめでコツコツ勉強するから」「東大が推薦で求める高校在学中の活動では、女子のほうが意欲的でチャレンジングな成果を残しているから」という話を聞くことがある。もっともらしい意見だが、これらは感覚的な受け止め方で、「女子だから」という性差に理由を求めており、説得力に欠ける。

じつは推薦入試において、女子が多いのはそれなりの理由がある。

募集要項には、学校長は合計4人まで推

薦でき、その内男女は各3人まで。ただし、男女いずれかのみが在学する学校においては、推薦できる人数は3人までとある。共学校は推薦枠を4人持っているが、男女それぞれ3人までとなっており、4人すべて男子あるいは女子はダメだ。一方、男子校と女子校はそれぞれ推薦枠3人である。共学、女子校いずれも3人志願できるようになった。

なぜ、共学校に男子校と女子校よりも推薦枠を広げたのか。それはこれまで東京大に合格者を多く出す学校の分析に基づく「政策判断」によるものと読み取れる。2023年、東京大合格者上位5校(開成、筑駒、灘、麻布、聖光学院)はすべて男子校だ。上位21校まで広げるとは男子校14、共学校6、女子校1で、男子校が圧倒的に強い。この状態は30年近く続いている。

そこで、東京大は「男女いずれかのみが在学する学校」、現実には東京大合格上位常連校の男子校からの推薦枠を制限し、女子を増やそうとしたことがうかがえる。もし、共学校、男子校、女子校の推薦枠が同じ4人ならばどうか。2023年上位14校の男子校に占有され、女子比率はこんなに高くならなかったことは容易に想像できる。

もちろん、これは女子枠ではない。だが、女子を増やそうという巧妙なやり方と言えよう。東京大は共学校、女子校の女子にウエルカムという姿勢を示したのだ。言葉を変えれば、女子優遇措置である。

女子を増やしたい。これは多くの大学が望むことである。中長期計画に「〇〇年まで女子学生を〇〇割にする」ことを掲げる大学がたくさんある。現在、東京大は女子学生比率を2026年までに3割に引き上げることを目標としている。あと2年後である。しかし2023年は留学生を含んでも23%台。さすがにこれはむずかしい。ならば女子枠を作るしかない…。

しかしそもそも、女子枠というのは、学生募集には馴染まない。女子に対する特別扱いではないか、という男子側から不満の声を聞くことがある。「アフーマティブ・アクション」によって優秀な人材が高等教育を受けられないというロジックと同じだ。

だが一歩譲って、わたしは大学で女子枠があってもいい、と考える。日本社会では長い間、さまざまところで女性が活躍できなかった。大学はその最たるものである。キャンパスが「女子禁制」だったというわけではない。「女子は大学へ行く必要な

教育ジャーナリスト
小林 哲夫さん

Profile

1960年神奈川県生まれ。
教育ジャーナリスト。朝日新聞
出版「大学ランキング」編集者
(1994年～)。近著に「日本の
「学歴」」(朝日新聞出版
橋本俊昭氏との共著)。

い」「女子は文科系が合っている」という社会的刷り込みが蔓延していたからだ。その名残は東京大、そして理工系の女子比率の低さに示されている。

1980年代以降、男女共同参画社会という考え方が広がったとはいえ、男女の役割分担的な考えは染みついている。これを変えるには思い切った政策が必要だ。ショック療法と言ってもいい。女子を優遇して数を増やすという既成事実を作る。女子枠導入で学生のレベルが下がると大学は思っていない。女子学生を教えてきた経験から、その優秀さを認めているからだ。

いくつかの大学は決断した。優れたポテンシャルを秘めた優秀な女子を優遇したいと、理系学部で女子枠を検討するところが続々と現れた。少子化が進むなか、大学の危機感の表れでもある。

2010年代半ば以降、北見工業大、東京工業大、芝浦工業大、東京理科大、富山大、名古屋大、兵庫県立大、島根大、熊本大などが、学校推薦型選抜、総合型選抜で女子枠を設けた。理系分野で女子を増やすこと。それが日本社会の発展につながると信じたい。

杜の都の西北から 第4回

拡充中の修学支援制度の今

受験生は日々のチェックを怠らないように

この制度は、大学等における修学の支援に関する法律等に基づき、所定の要件を満たしていると確認された大学等に在籍する学生が、経済的理由により修学困難とならないよう、授業料の減免と返還義務のない給付型奨学金支給の両面から支援を行うものである。

支援の対象となる学生は、世帯収入の額などの要件を満たす必要がある。授業料等の減免については、4年制大学に進学・在籍する住民税非課税世帯の対象学生の場合、入学金の減免額は国公立大は約28万円、私立大は約26万円、授業料は国公立大は約54万円、私立大は約70万円となっている(いずれも上限額)。給付型奨学金は、国公立大学生で自宅通学の場合は月額29,200円、自宅外は月額66,700円、私立大学生で自宅通学の場合は月額38,300円、自宅外は月額75,800円が支給される。

また、非課税世帯でなくても、これに準ずる世帯として①年収目安300万円までの世帯、②年収目安300万円を超え380万円までの世帯、の2つの世帯区分を設け、①については、非課税世帯の学生等に対する授業料等減免額及び奨学金支給額3分の2の額が、②については同じく非課税世帯の3分の1の額が支援される。

このように手厚い支援が特徴の高等教育の修学支援新制度が、昨年12月に政府が決定した「こども未来戦略」の「加速化プラン」等により2024年度以降、一層拡充される見込みとなっている。即ち学生本人を含め扶養する子が3人以上いる世帯(多子世帯)については、世帯年収約600万円までの中間層に対象を拡大し、非課税世帯の4分の1の授業料等減免や奨学金が支給可能となる。また、中間層世帯で私立大学等の理工農系に在籍する学生については、文系との授業料差額相当の授業料減免が行われる予定である。

さらに、2025年度からは、多子世帯の学生等については、世帯所得の制限を撤廃するとともに、大学等の授業料減免額を減額せずに、非課税世帯と同額にすることも検討されている。子どもが何人いても世帯収入にかかわらず、世帯が負担する授業料は最大2人分までとする方針も示されている。この場合の対象学生に係る学業等の要件等はこれから具体的な検討が行われる見込みである。

学生を対象とした奨学制度については、高等教育の修学支援新制度による給付型奨学金に加えて、従来型の貸与型奨学金についても、学修支援の充実の観点から負担軽減を図るとされている。具体的には

(学)東北文化学園大学評議員・
大学事務局長、弊誌編集委員

小松 倂厚さん

Profile

1989年東京学芸大修士課程修了、同年文部省入省、99年在韓日本大使館、02年文科省大臣官房専門官、初等中等教育局企画官、国立教育政策研究所センター長、総合教育政策局課長等を経て22年退官、この間京都大学総務部長、東京学芸大学参事役、北陸先端大学副学長・理事、国立青少年教育機構理事等を歴任、現在に至る。神奈川県立相模原高等学校出身。



減額返還制度の適用となる所得水準を引き上げることや、こどもが2人以上いる世帯については、奨学金の返還時における所得税を控除する等の負担軽減策も検討する予定である。

大学院修士課程段階についても、2024年度から、在学中の授業料を国が立て替え、返還は卒業後の所得に応じた「後払い制度」が導入される。当初は学部段階で新制度の対象学生だった学生で、その後直接大学院に進学した者を対象としてスタートするが、2025年度以降は、対象学生を拡大する方向で検討されている。

上述のように国の大学等支援施策は、高等教育の修学支援新制度の拡大を核として、年々進化していく計画となっている。まさに「加速化プラン」というべき様相を呈している。これらの施策により多くの学生の経済的な負担が軽減され、国の発展

に必要な人材養成が加速され、さらには我が国における急速な少子化の進展の中で、社会の活力維持に資することを期待したい。

修学支援制度の拡充とそれに伴うきめ細かい支援メニューが用意されていくことの反面、制度が複雑でややこしく感じられていくことは否めない。しかし、制度の恩恵を受けようとする学生は、人任せにせずに、自らに関係する修学支援や対象学生の要件等について、日頃から理解を深めておく必要がある。文部科学省や独立行政法人日本学生支援機構の関連サイトや大学等の担当者などから最新の情報を得て機会を逃さずに手続きができるようにしておくことをお勧めする。

雑賀恵子の 書評

雑賀 恵子

京都薬科大学を経て、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪産業大学他非常勤講師。著書に「空腹について」(青土社)、「エコ・ロゴス 存在と食について」(人文書院)、「快楽の効用」(ちくま新書)。大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身。



謝罪論

謝るとは何をすることなのか

古田徹也
柏書房、2023年

蹴ったボールがたまたま教室のガラスを割ってしまった。謝りなさい、と先生に叱られた。とりあえず「すみません」と言ったら、それですむと思っているのかとまた叱られた。すみませんがいけなかったのかしら。言い方が悪かったのかな。謝れと言われても、しようと思っただけじゃない。単なる過失なのだし、先生に直接迷惑をかけたわけでもなし、なんで謝らなくてはならないのか納得できない。あれ? 謝るってなんだろう。

私たちは日常的に謝罪したりされたりして生活しているし、謝罪とはどういうものかはわかっている。だが、謝罪とは何かを言葉で説明するのは一筋縄ではいかな

いらしい。謝罪という言葉で括られても、行為や意図のあるなしや結果において軽いものから重いものまであり、あるいは誰が誰に対して謝罪するのか、いつ(まで)謝罪するのかの時間の幅についてもいろいろである。電車で揺られて足を踏んだというものから、国家規模のものまである。したがって謝罪をなんのためにするのかも一義的には言えない。

ただ謝罪は、人と人のあいだでなされるということは変わらない。謝罪は、人間関係の維持や修復、つまりは社会で生きることと深く関係しているのだ。本書は、わかりやすく事例を挙げてそこで起こっていることの具体的な中身を解きほぐし、謝罪とは何かに迫っていくとする。

「すみません」という言葉は、呼びかけから重大な迷惑や損害を与えた場合まで使われる。その他の定型的な謝罪の言葉も同様だ。さまざまな具体的な場面の事例をめぐる、謝罪の言葉を細かく検討することによって、「軽い謝罪」から「重い謝罪」までのスペクトラムがあることが示され、謝罪の言葉の字義通りの意味と発語の背景にある意図や感情、謝罪によって目指すものなどが、主として言語哲学の手法で明らかにされていく。続いて「重い謝罪」を取り上げ、その典型的な役割とはな

にかが分析される。さらに、社会学などでの謝罪についての先行研究を批判的に取り上げつつ、具体的な事例から謝罪の諸特徴を浮かび上がらせる。さらに、それらの特徴に当てはまらない例を挙げ、定義することのできない謝罪という領域の全体像に接近していく。

身近でわかりやすい事例が、丁寧に腑分けされ、いろいろな角度から光が当てられる。ああでもなくこうでもなく、こちらから、あちらからとぐるぐる掘り進めていく著者の思考についていくと、普段考えもせず当たり前前にしていたことがなるほどこういうことでもあったのかなのだと目を開かされるだろう。

本書でなされる探求の営みは、わたしたちの生活や社会について、ひいては自分自身について、より深い理解を獲得することにつながるはずだと著者はいう。そして、謝罪とは何をしようとしているのか、何が求められているのかを詳しく明確に捉えることは、自分自身を知り、自分の心情や思考を整理して、不適切な、あるいは不要な謝罪を回避することにつながるのだと。

そうだ、謝罪とは、人や組織体、国家の関係の中でできてしまった傷を明らかにして修復し、共に生きるために社会に埋め込まれた技術に違いない。

国立8大学の情報系大学院による進学イベント「情報学 for all by all」3/17 共同開催



北海道大学 東北大学 東京大学 東京工業大学
名古屋大学 京都大学 大阪大学 九州大学

国立大学法人8大学（東北大学・北海道大学・東京大学・東京工業大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学）の情報系研究科が連携し、2024年3月17日(日)14時より、「女子も男子も、迷っているあなたにも、情報学を目指してほしいから8大学同時共同開催 情報学 for all by all」をオンラインと対面のハイブリッド方式で開催する。

ChatGPTをはじめとした生成AIの活用が驚くべきスピードで広がり、高校では2022年度から「情報I」が必修科目となり、2025年には大学入学共通テスト科目に「情報」が追加されるなど、高度な専門性を備えた情報人材だけでなく、情報の知識はこれからの社会に欠かすことのできない素養の一つとなった。

しかし情報分野の大学や大学院の現状は、女子学生の比率が非常に低くジェンダーバランスが取れていないなど、ダイバーシティが不足している。情報学を最大限に活用し、安全で安心して公平な社会を創り、社会課題を解決していくには、性別や国籍、住んでいる地域や関心のある社会課題が異なるなど、多様な立場の人々の意見や考えを「情報学」に取り入れていくことが重要だ。

今回8大学で開催する「情報学 for all by all」は、情報学の裾野を広げ、多様性を実現するための取り組みの第一歩として、中学生、高校生を主な対象として、情報学の面白さや可能性、将来のキャリアパスなど「情報学の魅力」を発信する。また、進路選択で相談相手となる保護者世代や中高の教員にも、情報学の今と未来を伝えるプログラムを用意。特に、他の学問領域や社会課題解決などに情報学が役立つ姿が見えるように工夫するとともに、大学院生や若手研究者からは情報学に関心を持ったきっかけや、学生・研究者の生活についても伝える。

当日は日本各地、また海外からも気軽に参加できるよう、8大学（東北大学・北海道大学・東京大学・東京工業大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学）のキャンパスとオンライン（ZOOM Webinar方式）で実施する。

参加は無料。対象は中高生とその保護者、中高の教員で、友達や親子、先生との参加も歓迎する。対面会場でのプログラムについては、大阪大学は中高生と高専生、九州大学は女子高校生・中学生となっている。東京工業大学 情報理工学院は総合型・学校推薦型選抜での女子枠の開始をふまえて、対象を女子生徒・女子受験生に限定する。

大学によって定員の数や受付方法（抽選制、先着順など）が異なるので、詳しくは以下のウェブサイトで確認する必要がある。

【8大学同時共同開催 情報学 for all by all】

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/events/joho-for-all2024/>

東洋学園大学、学生寮／指定物件の家賃・共益費を減免する特待生制度を新設 4年間最大総額326万4千円

東洋学園大学が新設する特待生制度は、昨今の物価や光熱費の高騰を鑑み、学生たちの経済的負担を軽減し、より多くの学生に高等教育の機会を提供するため設けられた。対象者は一般選抜の成績上位優秀者のうち入寮を希望する学生で、最大4年間、学生寮「安藤坂ドミトリー」または指定物件の家賃・共益費が減免になる。（4年間最大総額326万4千円）

学費減免などの各種特待生制度とも併用が可能で、条件によっては寮費の免除に加え、4年間の授業料（最大360万円）が減免される特待生制度も利用できる。ただし、2年次以降の継続については、学業成績が条件となる。

学生寮「安藤坂ドミトリー」は本郷キャンパスから徒歩約18分、JR飯田橋駅より約12分の閑静な住宅地の中にあり、建物は鉄筋コンクリート造の5階建。部屋数は42室。室内にはベッド、キッチン、ユニットバス、エアコンなどが完備され、快適な暮らしがスタートできる。また正面玄関はオートロック式になっているほか、管理人も24時間常駐。セキュリティ面にも万全の配慮をしている。

東洋学園大学は、この新しい特待生制度を通じて将来にわたって社会に貢献する人材を育成することを目指している。

【特待生制度概要】

名称：特待生D（寮費減免特待）

対象：一般選抜

内容：東洋学園大学学生寮（安藤坂ドミトリー）or 指定物件の家賃・共益費を減免

※最大4年間。2年次以降の継続については学業成績が条件となる。

※月額上限6万8千円（東洋学園大学学生寮の家賃・共益費は全額減免）

2024年4月入学向け 3月以降での対象入試

【一般選抜3期】小論文方式

対象学部：人間科学部、グローバル・コミュニケーション学部

選考日：2024年3月8日

Web出願期間：2024年2月15日～3月5日※最終日22時まで

出願書類提出締切（必着）：2024年3月6日

合格発表日：2024年3月18日

詳細はHPより <https://life.tygg.jp/admissions/exam/>



静岡理科大学、土木工学科棟「あーすつりー」が2023年度グッドデザイン賞を受賞

静岡理科大学の土木工学科棟「あーすつりー」が、優れたデザインの製品やサービスを表彰する2023年度のグッドデザイン賞を受賞した。2018年度に建築学科棟「えんつりー」が受賞して以来の受賞となる。

土木工学科棟「あーすつりー」は、静岡県内で2022年4月に初めて創設された「土木工学科」の校舎で、2022年11月に竣工した。土（earth）と木（tree）は地球環境を象徴しており、「大屋根の下で学生と教員が融合し、未来の地球環境を支える学問の発展と学生を育てる場所」として建設された。1・2階を教育エリア、3・4階を研究エリアとし、柱を極力設けない開放的なワンルーム階層の校舎の中で、異なる研究室同士の交流や協働、あるいは他の理工系分野との垣根を越えた連携を促進していく学び舎となっている。

建設にあたり、キャンパスモールを主軸とした全体計画との調和や、隣接する建築学科棟との接続による建築・土木分野の融合、土木工学の各分野の横断的な交流が求められ、土木量感のあるシンボリックな形態による、大らかで広がりのある建築を計画した。土木的スケールを表現する構造計画により、学生が構造を「生きた教材」にでき、また、土木的な大空間による、開放的で透明性の高い「分野横断」の交流・研究スペースが特徴。

グッドデザイン賞の審査委員は「力強い建築だ。静岡県は、世界で最も防災意識が高い地域の一つだろう。そこに土木/建築/防災等という学問の境界はないのだろう。土木の大きな構造物の多くは公共インフラを支えるが、災害時は人々を雨や日光から守るシェルターにもなる。一見はマッシブなRC造の大屋根も、実は市民の目線で土木を学んで欲しい、という建築側の意図が込められたのではないか」と評価した。

土木工学科棟「あーすつりー」

敷地面積：196,999.51㎡

建築面積：1,175.85㎡

延床面積：3,294.83㎡

主体構造：鉄筋コンクリート造

階数：4階



■ 大学発新産業創出基金事業、大阪大学、同志社大学など 8 件採択

科学技術振興機構は大学発新産業創出基金事業の 2023 年度プロジェクトとして大阪大学、同志社大学など 8 件を新規採択した。大学の研究開発にベンチャーキャピタルなどの事業化ノウハウを持つ人材をプロモーターとして付け、研究開発と事業育成を一体化して進めるもので、企業価値の高いスタートアップ企業の育成を目指す。

科学技術振興機構によると、大阪大学の採択事業は大学院工学研究科の青木航教授が進める「次世代型人工ペプチドたんぱく質のための人工リボソームプラットフォームの事業化」。ベンチャーキャピタルの ANRI がプロモーターを務め、リボソームを自由自在に改変できる合成生物学の独自技術を実用化し、産業に応用できる人工ペプチドたんぱく質を作る。

同志社大学の採択事業は理工学部の北岸宏亮教授が研究する「世界初の一酸化炭素中毒に対する解毒剤および当該技術を活用した他のガス中毒解毒剤の開発」。公設民営で起業家育成を進めるバイオ・サイト・キャピタルがプロモーター役で、血中で一酸化炭素と結合して尿で排出される化合物を利用した解毒剤を開発する。

このほか、筑波大学、千葉大学、順天堂大学、京都大学、九州大学、佐賀大学の研究が採択されている。

全国の医師数は年々増加し、2020 年には 1982 年と比較して約 2 倍、2010 年からの 10 年間に約 4 万 5000 人増加している。2023 年の医学部入学者が医師となると想定される 2029 年頃に医師の需要と供給が均衡し、以降は人口減少に伴い医師の数が過剰となる。医学部入学定員については、2024 年度の入学定員を維持すれば、2050 年には 18 歳人口のうち約 85 人に 1 人が医学部に進学する見通しとなる。

医学部の臨時定員は、2008 年度から緊急医師確保対策や新成長戦略に基づき暫定的な増員が行われてきた。2022 年以降については、定期的な医師の需給推計を行ったうえで、働き方改革や医師偏在の状況に配慮しつつ、将来的な医学部の減員に向けた医師養成数の方針を検討する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により議論が遅れていた。

本検討会では、将来の医師需給推計、医師養成数、医師偏在対策等、これまでの検討が一定のとりまとめをされたことを踏まえ、医学部臨時定員の在り方について、地域枠をはじめとした医師養成過程を通じた医師の地域偏在・診療科偏在と一体的に検討する。

今後も個別の地域や医療機関における「医師不足感」は生じうるが、解決を医師の数だけに求めず、原因に応じた対策を推進する必要がある。本検討会での長期的課題は 2025 年夏以降に中間とりまとめを行う予定。

なお、2025 年度の医学部入学定員については、2024 年度の枠組みを暫定的に維持することが示されている。

■ 岐阜市立女子短期大学を共学の 4 年制市立大学へ 将来構想委員会が提言

2024 年 2 月 8 日、岐阜市立女子短期大学将来構想委員会は岐阜市立女子短期大学の将来構想について答申を行った。



委員会によると、岐阜市立女子短期大学はデータサイエンス教育の推進等の改革を進めてきたが、入学定員を満たせていない状況が継続。

一方、県内高校生の進学傾向として県外、特に愛知県への進学者が多く、県内大学への進学者の割合は約 22%となっている。

そこで男女の大学進学率差が縮小し女子短期大学のニーズが弱くなっているなか、時代に即した人材育成と、多様な価値観に触れながら共に学び合う教育環境を目指して共学化することを提言した。

さらに学力中間層に位置する高校生が地元で学び専門分野の学びを高めるためには公立 4 年制大学を設置し、同時に、地域でのリスクリングを担う意味でも大学院も検討すべきとした。その場合、地域活性化に直結する衣食住分野や、地域経済活性化という軸で、経営・起業に関する専門分野をデータ活用・分析に関するスキルを交えながら学ぶコースを置くことが、新たな分野の方向性として考えられる。

委員会は、公立 4 年制大学・大学院という新生「岐阜市設置の市立大学」像の実現に向け、岐阜市に期待するとしている。

全国公立短期大学協会によると、公立短期大学は 14 校。うち、女子短期大学は山形県立米沢女子短期大学と岐阜市立女子短期大学の 2 校のみとなっている。

■ 医学部の入学定員、地域や診療科の偏在と一体的に検討、見直しへ



2024 年 1 月 29 日、厚生労働省で第 1 回医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会が行われた。これまで行われてきた議論を踏まえ、地域枠をはじめとした医師養成過程を通じた医師の地域偏在・診療科偏在について検討する。

■ 東京都、大学発スタートアップ創出支援事業に参画する 10 大学を決定

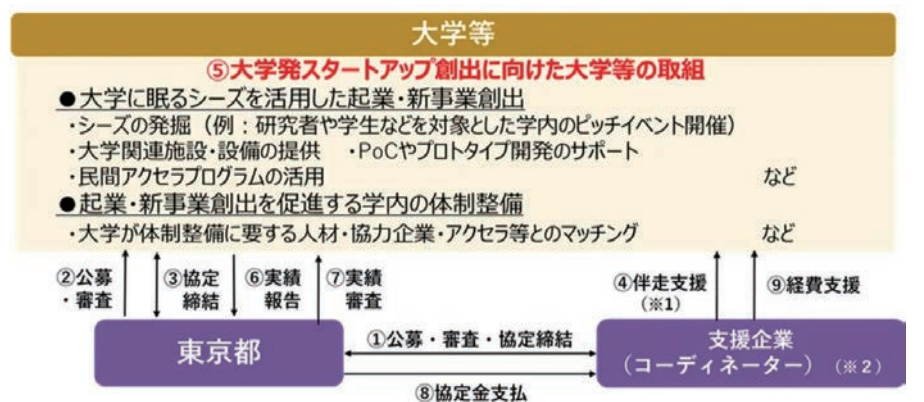
東京都は、知の拠点である大学が集積する東京の強みを活かし、優れた研究シーズやアイデアの事業化に向けた「大学発スタートアップ創出支援事業」を新たに開始する。今回、事業に参画する予定の 10 大学が決定した。

東京都は、2022 年 11 月スタートアップ戦略「Global Innovation with STARTUPS」を策定。「未来を切り拓く 10x10x10 のイノベーションビジョン」を掲げ、グローバルに活躍するスタートアップの創出やスタートアップの裾野拡大、イノベーションを支援する官民協働の拡大に取り組んでいる。この一環として「大学発スタートアップ創出支援事業」も実施される。

「大学発スタートアップ創出支援事業」は、東京都とコーディネーター※を務める株式会社キャンパスクリエイトが連携し、大学発スタートアップの創出に向けた大学等の各種取組（シーズの事業化や学内の体制整備等）に対して、進捗状況のヒアリング、民間アクセラ等とのマッチング、学内の体制整備に向けたコンサルティングなどの伴走支援及び経費支援を行う。

参画予定の 10 大学は、事業化促進型の慶應義塾大学、芝浦工業大学、順天堂大学、帝京大学、電気通信大学、東京工業大学、東京大学、東京理科大学、武蔵野大学と、環境構築型の武蔵野美術大学。武蔵野美術大学は、美術・デザインを学ぶ学生が、創造的で持続可能なビジネスを立ち上げられるよう総合的に支援する環境の構築に向け、起業に関する学生相談窓口の設置、学生を対象としたアクセラレータープログラムの実施等に取り組む予定。

※コーディネーターは、都と共に本事業を運営し、各大学等の実情に応じた支援を企画・提供する。



日本の大学・教育関連専門のニュースサイト

大学ジャーナル
UNIVERSITY JOURNAL
ONLINE

その他の詳しい大学関連ニュースは

大学ジャーナルオンライン

SEARCH



@univjournal



大学ジャーナルオンライン

「誰かの笑顔のために」から始める 場のデザインとソーシャル・イノベーション

キーワードは笑顔、思いやり、居心地の良さ

高校時代、世界はどうしたら平和になるかに思い悩み、まずは貧困をなくすのが近道と、大学では経済学部を選んだ宮木先生。大学院で基礎となる理論経済学を学ぶものの、実践への思いに駆られ、政治家等の集まる政策研究会に参加。それがきっかけで国際NGOの代表となり、以来、環境問題や途上国支援などに邁進。大学教員としては当初、経済学や経営学の授業を担当したが、その後NGOでの経験を買われ、大学と地域や企業とのコラボ活動を行う授業を担当することに。経営コンサルタントとしても活躍しながら、2017年に新設された京都産業大学現代社会学部に着任。それまでのキャリアを活かし、「場のデザイン」と「ソーシャル・イノベーション」をテーマにしたゼミは、人気ゼミとなっている。《笑顔、思いやり、居心地の良さ》から考える国際貢献、地域貢献、身近な課題解決について、また高校生へのメッセージをお聞きました。

笑顔、思いやり、居心地の良さ

人が集まれば、そこが一つの「場」となり、各自の内面や行動が相互に影響を与えあうことになり、その「場」全体のありようを決めていくと考えられています。「場」とは学生なら、家庭、学校、バイト先、社会人なら、家庭、職場を中心に、お店や公共施設などが一般的です。人はみなそのような「場」を渡り歩いており、その連なりが人生であるとも言えます。

このように「場」というものを考える時、その「場」は明るく快適に過ごせるものであるに越したことはありません。ではそのような「場」をいかに作るか、それを考えるのが《場のデザイン》です。そしてその際のキーワード、よりどころと言っているかもしれませんが、それを私は「笑顔」「思いやり」そして「居心地の良さ」の3つのキーワードで表すことにしています。

国際貢献であれ地域貢献であれ、あるいは地域づくり、ひいては学校や家庭における日常の身近な問題の解決に際しても、そこに暮らす人々、ともに学ぶ仲間の居心地の良さとは何か、どうすればその場にいる人々を笑顔にできるかを最優先に考える。そして大事なはそのベースとして、他者への思いやりが不可欠であるということです。

この点をおろそかにすると、地域づくり

の現場で、実情にそぐわない計画、施策が生まれることがあります。例えば、過疎の町に東京で流行りの洗練されたスタイリッシュなカフェを何店も建てるといった計画。少し考えてもこのことで住人の多くが笑顔になれるとはとても考えられませんね。しかし現実には、このような施策、それによって作られた施設があちこちにあるのを皆さんも見たことがあると思います。その多くに、補助金、つまりは税金が投入されているのは残念なことです。

みんなの努力を無駄にたくない

地域や街の活性化には、学生も駆り出されます。若者を巻き込んだ地域づくり、若者のアイデアによる商店街の活性化。こんな夢に満ちたプロジェクトが全国的に行われています。新しいアイデアの欲しい省庁、地方行政が、積極的にこうした取り組みを支援しているのも一因です。参加する学生はみな純粋な動機から真剣に取り組めます。しかし、それが実は誰の笑顔にもつながらないものだとしたら…。私は、授業やゼミで繰り返す、この企画は「誰を笑顔にするためのものか」「誰の居心地を良くするためのものか」を、常に問い直そうと呼びかけています。

ソーシャル・イノベーションのために

様々な貢献活動でもう一つ大事なのは、対象となる人々が何を望んでいるのかを聞

き取る、肌で感じる作業です。経済・経営学の視点に立って言い換えるならば、「ヒアリングを通して「ターゲットのニーズを把握する」、いわゆるマーケティングが不可欠です。これは企業活動では当たり前のことですし、私の原点でもある国際NGO活動では、多くの施策が生死と直結しますから、不可欠なアプローチなのです。

その際、まずは対象となる国や地域の魅力、良いところを発見しようという姿勢が欠かせません。問題や課題という言葉からは負の側面に目がいきやすいですが、良いところを見て、それをさら伸ばす方向で企画し計画を練る方が、楽しく、やりがいも感じられるはずですよ。

貢献活動では、GDPに代表されるような経済・経営学的な指標、あるいは単位面積あたりの病院数など、数値を前提に計画・立案することが多いです。ただ、限られたカテゴリーでの数値だけを判断基準にするには限界があります。《居心地の良さ》、《誰かの笑顔のために》というのは、一見情緒的で、曖昧さを残した表現のように思われるかもしれませんが、そういった感覚こそ有効な判断基準の一つだと私は考えています。

もう一点、人は概して、身近なものへのありがたさには気づかなかったり、どこが不便なのかが明確でなかったりすることも多いものです。それを前提に、それらを想像

京都産業大学 現代社会学部教授
宮木 一平先生

Profile

慶応義塾大学経済学部、同大学院経済学研究科博士課程を経て、法政大学大学院政策創造研究科准教授、法政大学地域研究センター特任教授を歴任。2017年京都産業大学現代社会学部教授。1995年より、NPO法人GNC Japanの代表として国際協力の現場でも活動。NPO法人グローバル人材開発センター監事。桐朋高等学校出身。



現代社会学部の4年間

現代社会学部の学びは、「地域」「人間」「メディア」のいずれのコースにおいても、2年次の秋学期からゼミへ分属されるのが大きな特徴です。私のゼミでは、2年次に問題発見・課題解決のロジック、およびマネジメントとファシリテーションの基礎的な知識とスキルを身に付け、「場のデザインとソーシャル・イノベーション」をケーススタディーで学びます。3年次では、自分たちで考えたいいくつかのプロジェクト※に取り組みます。そして4年次では、その成果を卒業研究として発表します。

※プロジェクト例:(2019年度)絵本プロジェクト、(2023年度)鞍馬「地藏寺」の活性化、学びの場のデザイン他

してあるべき姿を構想する《構想力》、問題を発見する《発見力》が最も大事です。経営学で言うところの「潜在的ニーズ」を顕在化させる力です。対象者に《思いやり》をもって接し、「先回りして」彼らが笑顔になる企画、施策を思い描く。これら一連のプロセスこそが、ソーシャル・イノベーションを生む原動力になるのです。

高校生へのメッセージ

私もそうでしたが、若い時は、「ここですべてが決まる、もう取返しはつかない」というような追い詰められた思い込みに陥ることが少なくありません。しかし、「貧困をなくしたい」という思いから経済学部に進んだ私は、その後様々なキャリアを経験し、今は現代社会学部で教えています。人がやりたいと思うことは時とともに変化しますし、あちこち横道にそれることも当たり前です。時には、これは遠回りではないかと思うこともあるかもしれませんが、しかし年齢を重ねて振り返ると、それらすべてが今の自分につながっていることがよくわかります。大切なのは、その時々これと思ったことには全力で立ち向かうこと。それらは自分が本当にやりたいこと、やらねばならないことが見つかった時に必ず活きてくるからです。



OPEN CAMPUS 2024

3/23. 土

6/9. 日

7/21. 日

8/3・4. 日

9/15. 日

10:00~16:00
(9:30~随時受付)

※3-6月は10:00~15:00、9月は10:00~16:30

事前申込制(当日申込可)

高校生の方はもちろん、保護者の方もご参加いただけます。

イベント詳細および事前申込は京都産業大学の入試情報サイトをご確認ください。

むすんで、うみだす。
京都産業大学
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

経済学部

- 経済学科
- 経営学部
- マネジメント学科
- 法学部
- 法律学科
- 法政策学科

現代社会学部

- 現代社会学科
- 健康スポーツ社会学科
- 国際関係学部
- 国際関係学科

外国語学部

- 英語学科
- 英語専攻/イングリッシュ・キャリア専攻
- ヨーロッパ言語学科
- ドイツ語専攻/フランス語専攻/スペイン語専攻
- イタリア語専攻/ロシア語専攻
- メディア・コミュニケーション専攻
- アジア言語学科
- 中国語専攻/韓国語専攻/インドネシア語専攻
- 日本語・コミュニケーション専攻

文化学部

- 京都文化学科
- 国際文化学科
- 理学部
- 数理科学科
- 物理科学科
- 宇宙物理・気象学科

情報理工学部

- 情報理工学科
- 生命科学部
- 先端生命科学科
- 産業生命科学科

入学センター

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL 075-705-1437
E-mail: info-adm@star.kyoto-su.ac.jp

入試情報
サイトは
コチラから

